

まちの ニュース

女性の視点を市政に生かす女性議会を開催

市政などへの女性の参画を進めることを目的に、第1回市女性議会は11月26日、市議会議事堂で行われました。

市が県立大学と実施している市男女共同参画研修に参加する婦人会、商工会、交通安全母の会などの女性団体の代表18人が女性議員として参加。4グループに分かれ、産業の振興や高齢者医療問題、災害対策や男女共同参画社会の実



女性ならではの視点で一般質問した瀬川愛子さん



初の女性議会に臨む女性議員の皆さん

現などについて一般質問を行いました。

女性議員として登壇し、人材育成や食育推進などについて質問した瀬川愛子さん(大更は「日ごろ感じていることを一般質問としてまとめるのは難しかったが、色々なことに目を向ける良いきっかけとなった。同じ女性でがんばっている人がこんなにいることを初めて知った。この議会を通じて、多くのことを学ぶことができた」と初めての女性議会を終えた感想を聞かせてくれました。

今回初めて行われた女性議会は、市議会の一般質問と同じ形式で行われ、女性議員の質問に対し、それぞれ市長が直接答弁しました。

2009八幡平ゆきまつりの開幕を祝おう

2009八幡平ゆきまつりのオープニングセレモニーは12月19日、八幡平温泉郷で行われました。

このまつりは、今年で6回目。たくさんのお客や市民に冬の八幡平を楽しんでもらおうと、さまざまなイベントを開催します。

セレモニーでは、柏台保育所の園児がかわいらしい踊りと歌を披露。鏡割りやもちつき

きでゆきまつりの開幕を祝ったほか、杜仲茶ポークの豚汁が振る舞われました。

2月14、15の両日に焼走り会場で、21、22の両日には、八幡平温泉郷会場でキヤラクターショーなど、お楽しみ盛りだくさんのゆきまつりイベントが開催予定です。

ゆきまつりについては詳しくは、八幡平市観光協会(☎78-3500)まで。



↑園児たちと一緒にもちつきをしました

◀柏台保育所の園児24人が、歌やお遊戯を披露して、ゆきまつりの開幕に花を添えました

公民館やサークルの成果を披露するまつり

たいらだて公民館まつりは12月6、7の両日、平館体育館を主会場に開かれました。

公民館講座やサークル活動で製作した、絵画や書道、手芸といった作品展示のほか、婦人会のバザーなどが人気を集めました。

このほか、6日にはサークルによる囲碁腕試し大会やお茶会が、7日には輪投げ大会やリンゴの皮むき大会などのイベントが開かれ、訪れた人々を楽しませました。



力作ぞろいの作品を鑑賞する来場者

田山スキー場でシーズンの安全を祈願する

田山スキー場の安全祈願祭は12月10日、同スキー場競技センターで行われました。

スキー関係者や田山小学校（菊池明校長、児童50人）の6年生の児童など50人が参加。神事に続いて、競技センター前でテープカットを行い、今シーズンの安全を祈りました。

田山スキー場は、県内唯一のジャンプ台を備え、1月に開催される全日本学生スキー選手権大会などでもジャンプ競技の会場となります。



安全を祈願しテープカットを行った参加者

3月で閉園する新町幼稚園の生活発表会は12月6日、同園で行われました。

お遊戯や劇、歌など11の演目を披露しました。山本昌子園長は「練習を通じて互いに刺激し合い、がんばる力がついたと思う。3月の閉園までにたくさんのお思い出をつくり、新町幼稚園としての誇りをもてるようにやっていきたい」とあいさつ。一生懸命な園児たちの演技に、会場から大きな拍手が送られました。

新町幼稚園として最後の生活発表会を開催



劇「ももたろう」でかわいらしい演技を見せる園児たち



民謡や踊りを披露した西根病院クリスマス会

患者の健康回復を願い民謡などを披露する

入院・外来の患者を楽しませようと、国保西根病院（嶋信院長）のクリスマス会は12月19日、同病院で開かれました。キャンドルを手にした職員が入場し、きよしこの夜、赤鼻のトナカイを合唱。嶋院長が「歌や踊りを楽しんで、早く元気になってください」とあいさつしました。

八幡平市民謡好成会の7人が南部俵積唄などの民謡を披露し、会場を華やかに盛り上げました。

スポ少の活動から学んだ大切なことを発表

八幡平市スポーツ少年団活動発表会は12月14日、市総合運動公園体育館で開かれました。

スポーツ少年団に所属する児童生徒など約300人が参加。野球やサッカー、スキーなど20団体の代表が、活動内容や学んだことを発表しました。北京五輪女子ホッケー日本代表選手の小沢みさき選手が講演し、スポーツを楽しむことや感謝することの大切さを呼び掛けました。



活動を通じて学んだことを発表する団員たち

社会の福祉向上のため助け合い演芸会開催



趣向を凝らした踊りを披露する出演者

恵まれない人たちに義援金を贈ろうと、松尾地区婦人会歳末助け合い演芸会は12月7日、松尾地区体育館で行われました。

この演芸会は、収益金の一部を幅広く社会の福祉向上に活用してもらおうと昭和53年から毎年行われているものです。松尾地区の各支部婦人会が、この日のために練習を重ねてきた歌や踊りなど29演目を披露し、訪れた人を楽しませました。

軽スポーツを通じて冬期間の健康維持と市民の親ほくを深めようと、八幡平市高齢者

二ユースポーツ大会は11月27日、市総合運動公園体育館で開かれました。

市内の高齢者など約250人が参加し、シヤフルボード、ユニカール、ニチレクボールの3競技に挑戦。参加者は、行政区や地域単位などの73チームに別れ、笑顔を見せながらはつらつとしたプレーに汗を流していました。

ニユースポーツで冬の寒さを吹き飛ばそう



標的にストーンを近づけるユニカール競技



心を込めてツリーを飾る園児たち

松尾八幡平物産館・アスピーテは11月26日、柏台保育所の園児を招き、クリスマスツリーの飾り付けを行いました。

大きなツリーを見て、園児たちは「大きい」と大歓声。この日のために園児たちが準備した、手作りの飾りなどを心を込めて飾り付けました。

最後に「あわてんぼうのサンタクロース」を元気に歌い、クリスマスが来るのを待ちきれない様子でした。

みんなの手作りの飾りでツリーを華やかに

地域と共に歩んでひなぎく幼稚園が30周年

学校法人西根学園ひなぎく幼稚園(高橋アヤ理事、理事長兼園長・園児70人)の創立30周年式典・発表会は12月21日、姫神ホールで行われました。

式典で田村正彦市長は「30年間続けてきたことは、大変すばらしいこと。これから

地域の幼稚園として、支援をしていきたい」と祝辞を述べました。

発表会で園児たちは、お遊戯などを元気いっぱい披露しました。同幼稚園は、これまでに2101人の卒園生を世に送り出しています。



↑この日のために練習してきたお遊戯などを、元気いっぱいに披露

→30周年を祝う特別ゲストとして、ご当地ヒーロー・ハチマンタイラーも登場し、園児たちと握手

国や地方の事務への協力などに功績のある人を顕彰する20年秋の褒章の受章者が、11月3日に発表されました。

市からは、三浦繁さんが農林業センサス調査員として長年にわたり、農林業センサスに従事した功績が認められ、藍綬褒章を受章しました。おめでとうございます。

三浦さんは、1950年世界農林業センサス調査員に任命されて以来、農林業センサスに12回、国勢調査に12回、事業所統計調査に5回、県農林業統計調査に27回従事。通算60回の統計調査に尽力しました。

伝達式は12月10日に田山支



田村市長から三浦さんに褒章などを伝達しました

所で行われました。田村正彦市長から、三浦さんに褒章などを伝達し、長年の功績をたたえました。



みうら しげる
三浦 繁 さん
(79歳・日泥道ノ下)

農林業センサス調査員などとして、統計調査に多大な貢献をしました。

長年の統計調査の功労をたたえる秋の褒章